

1 はじめに

丸亀市算数部会は、平成14年度の研究テーマを香算研のテーマと同様に「子どもと算数を創る－数学的な考え方の育成を目指して－」とし、研究を進めてきた。

- 「数学的な考え方」については、県研究部では、
- 「内容に関わる数学的な考え方」
 - 「問題解決を支える数学的な考え方」
 - 「合理的な営みを支える数学的な考え方」

の3つに分類して捉えている。そこで、第5学年「変わり方のきまり」では、問題解決の際に、より便利なものに高めたり、広く使えるものにまとめたりする際に用いて、問題解決を繰り返す中で、児童に身につけて欲しい考え方（問題解決を支える数学的な考え方）の育成を中心に児童一人一人を大切にしたい少人数指導、評価を基に児童の側に立った支援の工夫を考え、授業実践を行った。

2 本校における少人数指導の捉え方

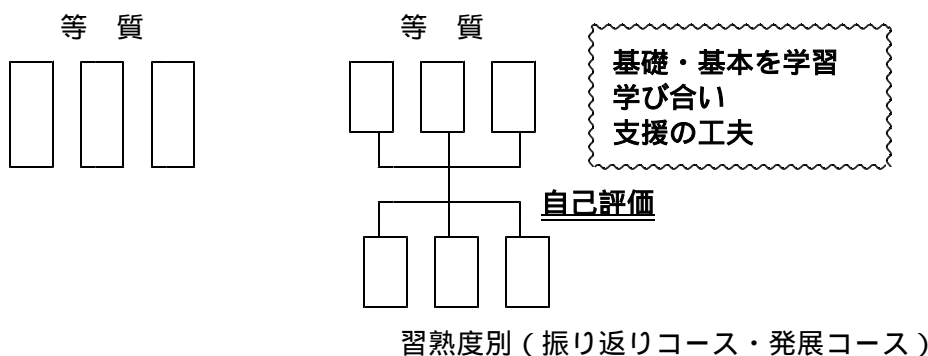
(1) 基本的な考え方

すべての児童に分かる授業を通して学ぶ楽しさを味わわせ、基礎・基本の確実な定着を図るために、少人数グループを編成し、きめ細かな指導を行う。

(2) 具体的実施方法

- ・ 3年以上の算数において、2学級を等質3グループに編成し、3名の教師（学級担任＋少人数担当教師）で指導を行う。必要に応じて単元の終末にて習熟度別グループを編成する。（児童の選択によるグループ編成）
- ・ 学年団を同じ時間に位置づけて3教室（教室＋算数教室）で授業を行い、できる限り進度をそろえる。
- ・ 少人数担当教師は、単元計画・週案の作成・授業用教材等の準備を行う。
- ・ 少人数担当教師が中心となって、補習を行う。

3年 月曜日 6校時 4年 金曜日 6校時
5年 火曜日 16時～ 6年 木曜日 16時～



3 本校における算数科の評価の考え方

学年団会（随時、空き時間を見つけて実施）や担当者会（学期2回程度）において、県作成の評価基準をもとに十分研究し、共通理解を図る。－検討中－

一人一人の児童の実態を把握し、前時の評価を生かして次時に関わる。

